



アカウミガメはなぜ三陸沿岸へ？

全国大会に挑んだ高校生の探究と気づき

左から

釜石高校3年 宮川 翔さん 佐々木 和哉さん 佐々木 悠人さん 川崎 拓真さん

全国的にSSH指定校などの代表生徒が集り、日頃の課題研究の成果を発表する「SSH生徒研究発表会（全国大会）」に、釜石高校3年の川崎拓真さん、佐々木悠人さん、佐々木和哉さん、宮川翔さんが出場してきました。川崎さんら4人チームの発表テーマは「バイオロギングを用いたアカウミガメの生態調査」です。

本来は暖かい海域に生息するウミガメが、近年は夏になると三陸沿岸でも見られるようになりました。定置網を壊したり魚を逃がしたりと漁業被害も起きています。その原因を探ろうと、4人は3つの仮説を検証しました。東京大学の佐藤克文教授の協力を得ながら行動記録用の電子端末データロガーでウミガメの移動経路を記録し、海流や水温、エサとなるクラゲの生息域などを調べました。研究の成果を胸に挑んだ8月7日～8日の全国大会では約230校の研究に刺激を受けながら、自分たちの強みも感じたと言います。

佐々木和哉さんは「今回の学びを生かし、大学でも研究を続けたい。岩手県はシカが多いので、バイオロギングを使ったプログラミングで釜石の自然を研究できるのでは」とこれからの研究の可能性に目を向けました。挑戦の先に広がる新しいテーマを見据えながら、4人の探究の歩みはこれからも続いていきます。

すこやかアイドル

「すこやかアイドル」では、お子さんの笑顔とご家族のメッセージを紹介します。1～5歳くらいのお子さんの写真を広報に掲載しませんか？市オープンシティ・プロモーション室（☎27-8463）または市のホームページからご連絡ください



山口 優燈くん (2歳)

元気いっぱい大きくなってね！



松澤 莉子ちゃん (3歳)

いっぱい食べてすくすく大きくなってね



佐々木 禰矢くん (2歳)

元気に育ってね♡

